



ユーザープレーンでのアプリケーションベースのテザリング検出

- [マニュアルの変更履歴 \(1 ページ\)](#)
- [機能説明 \(1 ページ\)](#)
- [アプリケーションベースのテザリング検出の設定 \(2 ページ\)](#)
- [アプリケーションベースのテザリング検出のモニタリングと障害対応 \(3 ページ\)](#)

マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
初版	21.24 より前

機能説明



重要 アプリケーションベースのテザリング検出は、非CUPSアーキテクチャでサポートされている既存の機能です。このリリースでは、この機能はCUPSアーキテクチャでサポートされていません。

アプリケーションベースのテザリング検出ソリューションは、アプリケーション識別用の既存のADCプラグインを中心に構築されています。テザリング固有のパターンは、認識されたアプリケーションプラグインの上に追加されます。これらのプラグインは、アプリケーションフローがテザリングされているかどうかに応じて連続して返されます。アプリケーションベースのテザリング検出は、他の既存のサポートされているテザリング技術と連動します。

非 CUPS アーキテクチャと同様に、テザリング検出は現在 Netflix と YouTube でのみサポートされています。

CUPS のこの機能は、CUPS 以外のテザリングパターン検出技術と同等です。

アプリケーションベースのテザリング検出の詳細については、『*ADC Administration Guide*』の「*App-based Tethering Detection*」の章 [英語] を参照してください。

制限事項

CUPS のこの機能は、CUPS 以外のテザリングパターン検出技術と同等のため、ネットワーク内のテザリングされたデバイスで使用される新しい TLS パターンがある場合、新しいパターンはテザリング検出で識別されません。

アプリケーションベースのテザリング検出の設定

この項では、アプリケーションベースのテザリング検出のサポートを有効にする方法について説明します。

ルールベースレベルでのアプリケーションベースのテザリング検出の有効化



重要 テザリング設定はコントロールプレーンで実行し、ユーザープレーンにプッシュする必要があります。

ACS ルールベースコンフィギュレーションモードで、ADC トラフィックのアプリケーションベースのテザリング検出を有効にするには、次のコマンドを使用します。

```
configure
  active-charging service service_name
    rulebase rulebase_name
      tethering-detection application
    exit
  exit
exit
```

注：

- **default tethering-detection** コマンドにより、デフォルト値が設定されます。
デフォルト：デフォルトでは、テザリング検出機能は無効になっています。



重要 OS および UA ベースのテザリング検出は、現在 CUPS ではサポートされていません。

- 以前に設定済みの場合は、**no tethering-detection** コマンドを使用して、ルールベースからテザリング検出設定を削除します。

ruledef レベルにおけるアプリケーションベースのテザリング検出の有効化

[RuledefConfiguration] モードでアプリケーションベースのテザリング検出を有効にするには、次の設定を使用します。

```
configure
  active-charging service service_name
    ruledef ruledef_name
      tethering-detection application { flow-tethered |
flow-not-tethered }
    exit
  exit
exit
```

注：

- 以前に設定済みの場合は、**no tethering-detection** コマンドを使用して、ruledef からテザリング検出設定を削除します。

アプリケーションベースのテザリング検出のモニタリングと障害対応

この項では、アプリケーションベースのテザリング検出のモニタリングと障害対応に使用できる CLI コマンドに関する情報について説明します。

show コマンドと出力

ここでは、この機能をサポートする show コマンドとその出力について説明します。

show user-plane-service statistic tethering-detection

この CLI コマンドの出力範囲が拡張され、この機能をサポートする次のフィールドが追加されました。

- テザリング検出統計（アプリケーション）：
 - スキャンされたフローの総数
 - テザリングされたフローの検出数
 - テザリングされたアップリンクパケット

- テザリングされたダウンリンクパケット

show user-plane-service statistic rulebase name <rulebase_name>

この CLI コマンドの出力範囲が拡張され、この機能をサポートする次のフィールドが追加されました。

- テザリング検出（アプリケーション）：
 - スキャンされたフローの総数
 - テザリングされたフローの検出数
 - テザリングされたアップリンクパケット
 - テザリングされたダウンリンクパケット

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。